

特集

論理的に書こう！

「論理的に書くにはどうしよう」と問う前に

まず問うべきこと 戸田山和久

【対談】看護教員が学べる論理的な書き方

戸田山和久、高口みさき

論理的に書くための3つのヒント

パラグラフを活用しよう 福澤一吉

なにはともあれ、まず書いてみよう

《2つの世界》を書き分ける練習から 佐渡島紗織

【第2特集】学生エッセイ入選作掲載

【連載】

グループワークの“達人”への道・2 三浦真琴

東西南北！ 学生募集旅日誌・2 高塚由紀子

考える力を育てるシンキングツールの活用・5 黒上晴夫

笑いの伝道師 Wマコトのコミュニケーション革命！・8 Wマコト

宮子あずさのエキサイティング Writing・20 宮子あずさ

“医療安全力”を育むリスクアセスメントトレーニング・28

斉藤奈緒美／石川雅彦

編集後記

●7,8号連続で「論理的思考」を特集テーマとします。もっとも、この「論理的思考」という言葉が現実には即していないことは、特集をお読みの皆さんにはすでにご理解いただいていることでしょう。私たちがしなくてはならないのは、「論理的に考える」ことではなく、「考えたことを振り返って論理的に整理する」ことなのです。●とエラそうに言っていますが、私自身まだまだ十分に実践できていません。編集を進めるなかで、今回の特集のコーディネートをいただいた福澤一吉先生から「論理的」ではない部分を次々と指摘され、まったく未熟であるとあらためて気づかされました。ただ、その経験により、「考えを論理的に整理する」ことの重要性がより理解でき、皆さんにも伝えたいという気持ちが強くなりました。ぜひ次号と併せて読み、できるところから実行してみてください。……大野

●人工知能は好きですか。今、AI三次ブームと言われ、「このまま発展すれば○○の仕事は取って代わられる！」といった記事が多数出ていますね。新しい人工知能は、試行錯誤をし、特徴を学習することによって、「個人を識別し、個性に即したざわり方、声かけ」も実践されるようになるとのこと。医療現場(や出版社)にも、きっと少しずつ変化が出てくるでしょう。そんな人工知能ですが、人類初めてのAIプログラムは1956年、「Logic Theorist」「論理の理論家」という名前でした。人工知能の原理には、「論理」があるのでしょうか。●そんなことを思っていた初夏の日、森達也監督の佐村河内さんを扱った映画「FAKE」を観ました。良くも悪くも、倫理に関する映画だと思います。いまや小説も書く人工知能ですが、倫理は論理で描けるのかな、と思いました。……番匠

◎編集室ツイッター

http://twitter.com/KANGOKYOIKU

看護教育 第57巻 第7号 2016年7月25日発行(毎月1回25日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2016, Printed in Japan

(1部) 定価: 本体1,500円+税

2016年・年間購読料(増大号を含む12冊): 冊子版15,540円, 冊子+電子版/個人18,540円, 電子版/個人15,540円(いずれも+税, 送料弊社負担)

発行: 株式会社医学書院 代表者: 金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 販売部 TEL: 03-3817-5659

『看護教育』編集室 TEL: 03-3817-5776 メールアドレス: kankyou@igaku-shoin.co.jp 担当: 番匠・大野・早田

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。0047-1895/16/紙: ¥500/電子: ¥750/論文/JCOPYが本誌の頁表記に並んで記されているのは、1論文1回複製につき紙は500円、電子版は750円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY宛にご連絡いただく際には、筆頭著者名と併せて本表示をご提供くださるようお願いいたします。

『看護教育』は、株式会社医学書院の登録商標です。

『看護教育』 バックナンバーのご案内

(1部)定価：本体1,500円＋税
年間購読 好評受付中！
電子版もお選びいただけます。

Vol.57 No.6

2016年6月
特集

看護過程再再考

小誌 56 巻 7 号「看護過程再考」につづく特集です。
「看護過程」が看護の教育上、重要であるということ、そして同時にそれ自体が看護ではないことは、皆さんに共有された認識と言えるのではないのでしょうか。
現状では、ペーパーバイシエントでの演習、実習の計画・記録・評価など、看護教育の非常に多くの部分で看護過程が活用され、教育のなかで「看護過程」への比重が非常に高くなっています。これは、看護過程は看護教育の1つの側面ではないという前提との、大きな離れではないかと考えます。
前回特集では、「看護過程」を補完するものとして、臨床判断モデルをご紹介しましたが、今特集では、前回の「看護過程をどう教えるか」の部分を受け継ぎ、より実践的な教育の観点から、「看護過程」の教育について、生のお声をお届けいたします。
「看護過程」をどう教えるか、の前に大きな問いとしてある、「看護過程」を用いて看護をどのように教えるか、再び考えていただく機会となれば幸いです。

- 今こそ考える、これからの「看護過程」の考え方、教え方……………池西静江
- 実践的な「気づき」を学ぶ必要と、その可能性について——看護過程と「臨床判断モデル」から……………佐藤尚治
- 看護過程の記録に頼らない、看護の実践的知識を深める教育……………糸賀暢子
- 基礎看護学で教授したい「看護過程」とその工夫——デジタルストーリーとワークショップ……………村中陽子



Vol.57 No.5

2016年5月
特集

「気持ちのいい」ケアを教えよう！

看護の醍醐味の1つに、患者さんから「気持ちよかった」という言葉を聞くことがあるのは、経験上皆さんご存じでしょう。けれども、大抵の場合は、患者さんからのこの反応で「喜んでもらえてよかった」と満足感を得るものの、自分のケアを見直し、そこに至ったケアの意味を見出すことなしに、その場限りで終わってしまうことが多いのではないのでしょうか。「気持ちよかった」という言葉は、単なる「手技」の成果としてではなく、患者さんの身体的、精神的、社会的な苦痛が軽減し、看護師とのつながりに「安心・安楽」を感じたときに発せられます。この言葉を引き出すには、どのようなケアが必要かを検討する必要があるのです。
今回は、「気持ちのいい」ケアを求めて研究を続け、看護モデル作成を進めている方々に登場いただき、このキーワードを用いて、看護のなかの技術、そしてその教え方を見直していただくという特集です。「気持ちよさ」というものは、受け取り手の個人差が大きいですし、環境によっても大きく左右されます。さらには、ケアを行う際に意識していれば、それは患者さんには伝わるはず。その意識づけを教員が学生にどのように行うかが、重要となります。患者さんに直接接する前に、学生が「気持ちいいケア」に対するイメージを広げられるように、先生方には働きかけていただきたいと思います。

- 「気持ちのいいケア」は、患者と看護者のその人らしさを支える！……………縄秀志
- 「快適起床ケア」で1人ひとりの朝を創ろう——気持ちのいいモーニングケア……………大橋久美子
- ケアを通して関係性が深まる——気持ちのいい全身清拭……………樋勝彩子
- 語りを引き出し、希望をつなぐ——気持ちのいい手浴……………矢野理香
- 早期介入で便秘予防！温電法で気持ちよく！——気持ちのいい排便ケア……………佐居由美



【2016年4月号(Vol.57 No.4)】

あなたの「見方」に現象学を

【2016年1月号(Vol.57 No.1)】

形・型・可で技術教育の
「安楽」を考えよう！

【2016年3月号(Vol.57 No.3)】

カリキュラムを
「拡張」しよう！

【2015年12月号(Vol.56 No.12)】

グラフィック・シラバスとカリキュラム・マップ
授業とカリキュラムを「見える化」しよう！

【2016年2月号(Vol.57 No.2)】

看護観の伝承

【2015年11月号(Vol.56 No.11)】

学生の答え、ちゃんと待ってますか 今こそ
知りたいファシリテーションの心構え

バックナンバーのご注文・在庫照会について

- 2014年 5月号(Vol. 55, No. 5)以前の号は、東亜ブック(TEL.03-5947-4781, FAX 03-3923-4539, http://www.toabook.com/)より
- 2014年 6月号(Vol. 55, No. 6)以降の号は、医学書院販売部(TEL.03-3817-5659)にお願いします。